

高野山の四季

写真 永坂嘉光

うつろう四季の自然と
静寂の中に佇む寺院の数々を
高野山に生まれ、高野山を写し続ける
写真家・永坂嘉光が
一枚一枚の画に封じ込めた作品。
2025年のカレンダーとして、
ご鑑賞、ご活用いただければ幸いです。

弘法大師
空海の名言を付す

2025

カレンダー

ユネスコ世界文化遺産
UNESCO World Cultural
Heritage

表紙：掃き清められた総本山金剛峯寺



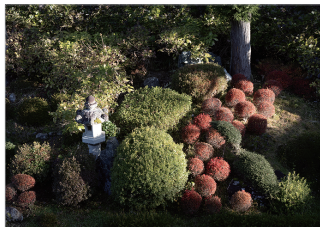
1・2月／生身供。雪の無明の橋を渡り、弘法大師の元に届けられる。



5・6月／鎌倉時代の遺構の一つ、経蔵(金剛三昧院)



7・8月／晩夏の夕ともなると厳かな光が射す(大円院)



9・10月／秋の光に包まれた庭園(南院)



11・12月／真田家ゆかりの寺院 蓮華定院の庭に雪が積もる



2026年1・2月／傳燈大阿闍梨池田恵観師による護摩行(清浄心院)



3・4月／摩尼宝塔と桜(成福院) [見本]

永坂嘉光
Yoshimitsu Nagasaka

高野山に生まれ住みながら1971年から高野山をライフワークにして56年間撮影を続けている。現在は高野山とかかわる地域・宗教・文化・自然をテーマに各国を撮影中。2004年日本写真芸術学会芸術賞、2007年(社)日本写真協会作家賞、2009年和歌山県文化功労賞、2015年高野山文化賞、文化庁地域文化功労者-文部科学大臣表彰受賞。2019年4月日本写真芸術学会功績賞。元大阪芸術大学教授(52年勤務)。



永坂嘉光チャンネル

●作品集 1980年～1999年豪華作品集刊行 [80年(毎日新聞社)、84年(同朋舎)、89年(ぎょうせい)] / 普及版作品集刊行、86年(グラフィック社)〈日英版〉、90年(新潮社)、01年「永遠の宇宙—高野山」(小学館)、03年「空海の歩いた道」(小学館)、04年「空海の道」(新潮社)、06年「天界の道 吉野・大峯 山岳の霊場」(小学館)、08年「聖なる自然」(光村推古書院)、09年「空海言葉の輝き 新装版」(PIE BOOKS)、12年「空海の道」(PIE BOOKS)、13年「秘仏 限定版 五大虚空蔵菩薩ポスター」(四季工房)、14年「豪華限定版 空海千二百年の輝き 秘仏と自然」(小学館)、19年「空海五大の響き 永坂嘉光作品集」(小学館) ●カレンダー作品 1998年～2024年(東方出版) ●個展 78年・87年(大阪・東京、95年(ニューヨーク)、88年(イタリア)、02年「永遠の宇宙—高野山」(東京写真文化館)、『Mt.Koya: Echoes of Spirit』(カリフォルニア Weston Gallery)、04年(京阪百貨店)和(歌山県立近代美術館)、05年から「空海の歩いた道15万キロ」北海道から九州まで全国有名百貨店で開催、07年「聖なる山々」(奈良市写真美術館)、08年「PASSAGE TO Eternity」(Weston Gallery)、『空海の歩いた道』(京都東寺)、『永坂嘉光写真展』(イタリア、サンピエトロ美術館)、09年「空海の歩いた道」(京都高雄、神護寺)、11年「永遠の宇宙—高野山」(堺市立東文化会館)、17年「Nagasaka Yoshimitsu 作品展」(Weston Gallery)、19年「高野山と空海の足跡」(台南水色芸術工房)、『空海 永坂嘉光の世界』(品川キヤノンギャラリー S)、23年9月29日～10月29日「永坂嘉光の世界—空海と高野山」(高野山金剛峯寺 新別殿)、10月1日～11月13日(天風てらす) ●常設展示 はちよう永坂嘉光ギャラリー、大圓院・和紙ルーム

参考文献：『空海名言辞典 付・現代語訳』(近藤義寛 編 高野山出版社)、『弘法大師空海百話1・II』(佐伯泉著 東方出版)、『日本人のこころの言葉 空海』(村上保壽 著 創元社)、『空海 言葉の輝き 新装版』(竹内信夫 文 ビエ・ブックス)

キャプションは英文付き

※カレンダーのキャプションは変更することがございます。

仕様…A3定型(420×297mm)・カラー写真8点

定価…1,500円(本体1,364円+税)

ISBN 978-4-86249-462-7 C0072

ご注文・お問い合わせは



東方出版

〒543-0062 大阪市天王寺区逢阪2丁目3番2号

TEL.06 (6779) 9571 FAX.06 (6779) 9573

注文書	貴店名・帖合	部数	大阪・東方出版	TEL. 06-6779-9571 FAX. 06-6779-9573	定価 (1364円+税) 1500円	年月日
			2025年カレンダー 高野山の四季 写真 永坂嘉光	ISBN 978-4-86249-462-7 C0072		